



NPO法人
「まもるをまもる」
プロデュース

mamoru²
We live for your "lives"

医療・福祉・介護・リハビリ・在宅医療
あなたのその気づきが未来を変える

「体験型」プログラム

東大阪市医工連携プロジェクト創出事業

医療・福祉・介護・リハビリ・在宅医療等従事者、医療・福祉・介護関連機器メーカー、モノづくり企業など医工連携に携わる多様な職種の方々との実践的なプログラムを通じて、「問題点に気づき、ニーズを掘り起こす力」、「新しいことを生み出す思考」や「出口につなげる方法論」など、医工連携をよりスムーズに進めていくための視点や能力を身に付け、事業化できる案件の創出を目指します。

現場の声を活かしたモノづくりに取り組んで行きたいと考えているモノづくり企業はもちろん、日頃現場で課題等を感じていて、自らがその発信者となりモノづくりに関わっていききたい医療、介護従事者の皆様等、是非ご参加ください。

	開催日時	テーマ・概要
第1回	2019/1/28(月) 18:30～20:30	●『医工連携における臨床家にとって必要な能力とは』 ●『医工連携に必要な不可欠なデザイン思考とアート思考』 共感力の重要性と思い込み（バイアス）を外す具体的な方法論とトレーニングを実践的に学びます。
第2回	2/27(水) 18:30～20:30	●『気づきから真のニーズを創り出し、未来の新しい価値を創造する』 ●『ビジネスモデルキャンパスとバリュープロポジションキャンパス』 取り組むニーズを絞った上で、チームを組成する時の注意事項とビジネスモデルキャンパスを実践的に学びます。
第3回	3/28(木) 18:30～20:30	●『グループ毎にビジネスモデルと最初の一手を発表する』

Facebook上で仲間とブレインストーミングが出来る環境を作ります！

本プログラムでの学び・成果をより高めるため、「参加者による Facebook のグループ」を作成いたします。
※本プログラムへの参加者及び関係者のみ閲覧可能な設定をいたしますので、初めて始める方も安心！
当日参加して終わりではなく、学んだことを日頃から意識し、トレーニングしていくことにより、スキルアップを図るとともに、より良い成果へとつなげていきます。

【Let's challenge】

- 医療、介護、リハビリ等の現場で不便だと気づいたことを写真で切り取り、Facebook へ投稿
 - 他の参加者の投稿を見て、意見やアドバイス、同様の気づきなどコメントを投稿
- 現場での気づきや課題を参加者みんなで共有でき、ブレインストーミングすることで、「ニーズを掘り起こす力」「新しいことを生み出す思考」などを身に付けていきます。
*写真撮影における個人情報保護についても学びます！

この
過程・体験
が財産！



【講師】西垣 孝行 氏

森ノ宮医療大学 臨床工学科 准教授 / NPO 法人「まもるをまもる」代表理事
国立循環器病研究センターにて 17 年間、臨床工学技士として従事。

経済産業省始動 NextInnovator2 期でシリコンバレー派遣メンバーに選抜、最終報告発表者としても選出。
2017 年経済産業省医療・福祉機器産業室、2018 年より森ノ宮医療大学臨床工学科准教授に着任。
専門分野：医工連携事業化マネジメント 医工デザイン融合

【会場】クリエイション・コア東大阪 南館 3 階 研修室（東大阪市荒本北1-4-1 東大阪役所西隣り）

【定員】40名程度 【参加費】無料

【参加対象者】※原則3回ご参加下さい。どうしても参加が難しい方はご相談ください。

- ・東大阪市内に事業所を有するモノづくり企業もしくは大阪産業技術研究所医療健康機器開発研究会会員企業
- ・臨床工学技士・看護師・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士等医療、リハビリ、介護、福祉等従事者
- ・医療、介護、健康、福祉等機器メーカー、製販企業、商社、デザイナー 等 医工連携に関心のある方

【申込方法】下記記載の上、FAX（06-4309-3846）にてお申し込みください。

会社名・所属団体等		職種	
氏名	TEL	mail	

※申込多数などご参加いただけない場合のみ、こちらからご連絡いたします。

主催：東大阪医工連携研究会・東大阪市 PT・OT・ST 連絡協議会・東大阪市 共催：大阪産業技術研究所医療健康機器開発研究会

東大阪経済部モノづくり支援室 担当：辻・津田
TEL：06-4309-3177 FAX：06-4309-3846 mail：monodukuri@city.higashiosaka.lg.jp